

FUJITO-CLINIC

## TALKIN'ABOUT Obstetrics and Gynecology

医療を超越した、ある産婦人科医の真摯な思いやり。

「女性の生涯を通して診ていきたい」。広島駅から車で15分ほどの場所にある、広島県安芸郡府中町に所在を置く藤東クリニックの院長・藤東淳也先生はそう語る。同クリニックは界隈でも名の知れた産婦人科クリニックだが、その理由は単に安心・安全を提供する医療を行っているというだけでなく、女性視点に立った様々なフアロ一体制が特筆すべき点だ。前述した院長の言葉にもある通り、生涯に寄り添った真摯な思いやりが、県内外の幅広い世代の女性達から大きな反響を呼んでいる。



## 産婦人科の必要性

産婦人科医や産婦人科を標榜する医療施設が年々減少傾向にある広島県内。それは地方全般に言えることで、地域医療が東京などの都市部へ一極集中している現状は、大きな社会問題の一つとなっている。

またその一方で、女性には妊娠や出産に関わらず、子宮筋腫や子宮内腺症などの発症リスクもあることから、婦人科の重要性は年々高まっていると言えるだろう。

しかし、女性に起こるがんとして広く知られる子宮頸がんの検査受診率は低く、発症率、死亡率は乳がんに次いで国内第2位。現在、日本では年間約12000人が子宮頸がんを発症し、約3500人が死に至っているという。

そうした背景からもわかる通り、産婦人科を標榜するクリニックの存在意義は実に高く、いかに現代社会に欠かすことのできない医療なのかを再認識させられる。

## 女性の人生と向き合う

広島県内に位置する藤東クリニックは、そうした現代に欠かせない産婦人科の領域で、これまで何万人にも及ぶ女性のライフサイクルに寄り添いながら、そのニーズに応えてきた。

最近是不妊治療や分娩など、専門領域に特化している医院も増加傾向にあるが、専門領域に偏らず、様々な角度から「女性と長くお付き合いできるようなクリニックでありたい」というのが院長である藤東先生の本音だ。

「妊娠したから診療をするのではなく、できることから妊娠前から来てもらいたい」というのもその一端で、妊娠前に検診を受けることで子宮頸がんなどの早期発見を促し、その後のフォローを行うようにしている。

「女性は社会においても大切な人材で、女性の社会進出は当たり前の時代です。年齢を問わず仕事のキャリアを積まなければいけない方もたくさんいらっしゃいますし、その中で妊娠や出産、育児など、ライフイベントも経験されていく。若くて有能な女性はたくさんいるにも関わらず、ライフイベントを機に二時的にリタイアせざるを得ない方もたくさんいるんです。それでも仕事は辞められない。そんな中でストレスも溜まり、生理や女性ホルモンのトラブル、貧血や生理不

順など、女性特有の病気発症も少なくありません。そこにどう手を差し伸べていくのが、私の役目だと思います。」

## 最適な医療を施すために

その中で、女性のライフサイクルに寄り添った医療を提供していくためには、何より「気軽さ」も大事なのだと藤東先生は話す。

実際に藤東クリニックには医療施設としての機能はもちろんのこと、女性視点に立った空間づくりや美容のアドバイス、食などのホスピタリティにも定評がある。例えば空間づくりでは、入院患者の居心地を考え、病院らしくない病院を演出。ホテルの設えのようなデザインを心がけ、陽の光を多く取り込み、よりオープンな環境を与えている。あえて日常と遮断せず、清潔感をどこよりも保つことで、目に見えない配慮が入院患者の心を落ち着かせている。

また、食にもこだわりを持っており、クリニックにはレストランを併設。女性の楽しみの一つである食に対しても、並々ならぬこだわりで様々なメニューを用意してくれる。それはまるで、満洲なレストランさながらだ。

さらに美容の観点からも配慮がなされ、医師としての確かなアドバイスをしながら、美容に関する悩みにも親身になって相談に乗ってくれるから嬉しい。

「とくに30代40代の女性は仕事や育児でストレスを抱え、疲れている方も多いため、ホルモンバランスを崩しやすい。つまりホルモンの乱れが病気の発症にも繋がることがあるということです。だからこそ、そうした細かな相談にもなるべく耳を傾けていきたいと思うんです。」

## 治療の答えは患者と共に

まさに藤東クリニックが提供する医療は、女性一人ひとりに合わせた、真摯な思いやりから成る医療だ。だからこそ大事なことは、「治療の答えは一つではないことだ」と藤東先生は続ける。

「治療に向かうプロセスでは、医師が患者に答えを押し付けるのではなく、より多くの選択肢を与えることが大事です。そして患者さんと一緒に答えを出していくことが大切なのだと思います。」

地域医療では患者さんとの距離感も近いですが、気楽に話せる環境があります。そうした環境を活かしながら、末長く女性のライフサイクルに寄り添っていきたくと考えています。」

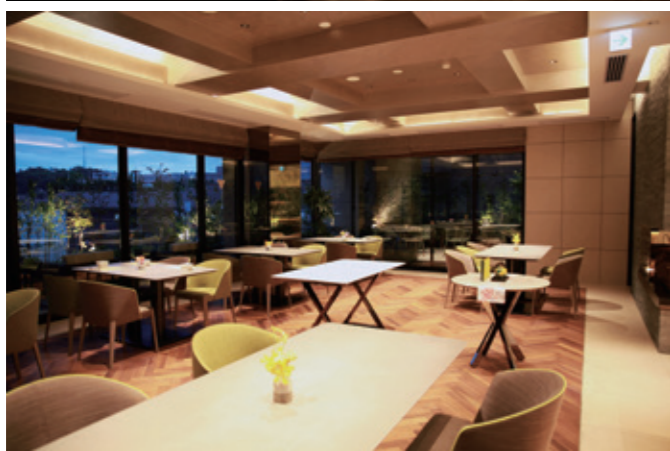
末長く寄り添うことのできる医療。そのための試みがホテルのような空間であり、満洲なレストランのような食であり、専門性の高い美容へと繋がっている。これはまさに、医療を超越した、先生の思いやりが成せる業であるのかもしれない。

右上：広々とした吹き抜けが印象的なエントランスロビー。

左上：全面ガラス張りの藤東クリニック。エントランス奥には広々とした駐車場も完備しており、遠方からも通いやすい。

右下：クリニックのロゴは、藤東先生自作のデザイン。子どもを抱く母親をモチーフに作られたのだという。細部に至るまで先生の思いやりが見てとれる。

左下：2018年度より新たに併設されたレストラン。季節や日替わりで、入院患者一人ひとりに合った美味しい食事を提供してくれる。



## 藤東 淳也 Atsuya Fujita

1968年広島県生まれ。1993年東京医科大学卒業。東京医科大学病院、同大学八王子医療センターなどを経て、2002年アメリカカンザス大学へ留学。2004年に帰国し、東京医科大学病院、県立広島病院(婦人科部長)勤務。2010年6月藤東クリニック新築開院。日本産科婦人科学会専門医。医学博士。細胞診専門医。日本がん治療認定医機構暫定教育医。バイオインフォマティクス認定技術者。がん治療認定医。日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医。日本内視鏡外科学会技術認定医。婦人科腫瘍専門医。母体保護法指定医。新生児蘇生講習会専門コース修了。

## 藤東クリニック

広島県安芸郡府中町茂原1丁目-1-1